

徳島県

事業所管：徳島県農林水産部もうかるブランド推進課
地域事務局：-

● 伝統料理キットと体験プログラムで食と暮らしの文化を保全

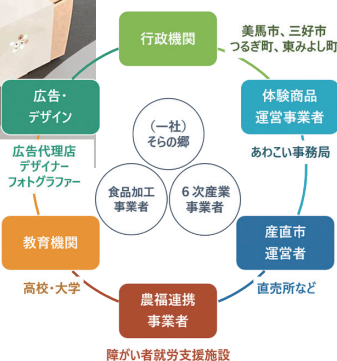
世界農業遺産、SAVOR JAPAN 及び観光圏に認定される徳島県西部の「にし阿波」地域は、食文化や生活の知恵を若い世代に伝承する仕組みを構築することにより、持続可能な社会に向けた啓発と山村集落の維持を図る。

LFP パートナー数

31 社・団体
(2023.3 現在)



にし阿波地域の伝統食
そば米ぞうすいのキット。



新たなビジネスの価値

- にし阿波地域の伝統食「そば米ぞうすい」は、簡単・便利な食生活になれた消費者に、素朴でやさしい味わいを届けるとともに、平家の落人伝説に想いを馳せる商品。
- にし阿波地域の歴史文化、景観と食を結びつけたビジネスモデルにより、若い世代の学びの機会の提供と、山村集落の維持を両立。

プラットフォームの体制

- にし阿波地域の DMO（観光地域づくり法人）を中心に、6次産業事業者等が参画し、体験プログラムと体験型のキットを開発。

そらの郷（DMO）、6次産業化事業者、食品加工事業者、デザイナー、ウェブデザイナー、フォトグラファー、広告代理店、農福連携事業者、高校・大学、あわこい事務局（体験商品運業者）、直売所等（産直市運営者）、JA、行政機関。

ビジネス創出のプロセス

- ワークショップでアイデアを募り、伝統料理の「そば米ぞうすい」のキットの商品化を決定。
- 体験プログラムは高校生や大学生等によるモニターツアーを実施し、参加者の意見を反映しながら内容を改良。

新しい取組・仕組みづくり

- 教育旅行で訪れた学生等が持ち帰り、キットを作りながら追体験することで、家族等と学びをシェアする、新しいコミュニケーションツールとして体験型のキットを開発。
- 体験プログラムとの相乗効果で、商品価値の高い地域観光サービスメニューを提供。



(上) 研修会風景。

(下) モニターツアーの様子。

